

とうべつ

手にとって <sup>ぐ~っと</sup>good 身近に

# 議会だより



No.207

令和3年12月1日発行

## CONTENTS

8月臨時会・9月定例会

### 新町長の所信表明に対する代表質問・・・・・・・・・・ p.2

- ・当別町の課題克服に向けて！
- ・基幹産業の農業の持続的発展を！
- ・雪害対策で住み続けられる町を！
- ・誰一人取り残されない対策を！

### 予算の使われ方を厳しくチェック・・・・・・・・・・ p.6

令和2年度各会計決算審査特別委員会

### 6人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・ p.13

- ・安心・安全の当別町に！！
- ・男女共同参画基本計画の策定は
- ・町民参加の図書館運営を
- ・選挙中、後藤正洋氏は宮司だった
- ・米価下落と干ばつの影響、対策は
- ・太美地区に新庁舎の建設を



出番を待つ除雪車両(当別町機械センター)

## 代表質問

会派清新 山田明 議員

質問の  
ねらい

## 当別町の課題克服に向けて！

現状、当別町はコロナ禍で町全体が閉塞感に覆われている。今後4年間、子どもから高齢者まで人生100年時代を見据え、「笑顔あふれるデジタル田園都市 当別町」の実現に向けて取り組むとあるが、町は課題

が山積している。除排雪体制の問題、役場新庁舎の建設、町内の医院の閉院による住民の不安解消への対策等、財源の安定確保と共に、これらの喫緊の課題克服に向けてどのように取り組む考えか伺う。

ここが  
聞きたい

## 財政基盤の安定に向けて

問

コロナ禍により町税の大幅な減収が予想される。財政基盤の安定強化に向けて、ふるさと納税の強化を図ると捉えているが、一歩踏み込んだ「企業版ふるさと納税」にも取り組む考えはないか。

答

すでに必要な計画を内閣府へ申請し、認定を受けている。大きなメリットが考えられるので、町外企業の理解と支援を受けられるよう取り組み、財政基盤強化に努める。

ここが  
聞きたい

## 役場新庁舎の建て替えは

問

PFI方式<sup>※1</sup>やリース方式<sup>※2</sup>など、財政負担軽減や事業期間短縮等を考慮して検討作業中と捉えているが、現在、構想案はどの程度まとめられ、具体的な報告はいつ頃になるのか。

答

9月末をめどに基本構想案をとりまとめ、精査の上、議会や町民に示したい。次の基本計画策定を進める中では、議員や町民から意見聴取等を行い、必要な事項は12月議会で提案したい。

ここが  
聞きたい

## 除排雪体制の再構築は

問

昨年の反省を踏まえ、今年度の除排雪体制はどのように考えているか。作業員や機材や堆積場の確保、町内会や環境組合との連携等、柔軟な協力体制構築に向け、どのような体制で臨むのか。

答

除排雪連絡協議会<sup>※3</sup>でいただいた多くの声を踏まえ、大雪時の夜間排雪の試行、除排雪作業班の再構築、町内会への小型除雪機貸与の施行等を行い、除排雪作業の円滑化、効率化を図っていく。



排雪作業の様子

ここが  
聞きたい

## 医療体制及び医院の誘致は

問

8月末をもって町内の医療機関の1つが閉院となった。多くの町民から不安の声が出ている。町として今後どのような医療体制を構築するのか。また、医療機関の誘致は進んでいるのか。

答

誘致について、道内の医療や介護の法人を訪ねて申し入れしている状況。今後は、町民が安心して暮らせるよう在宅医療体制の確保が必要なため、医療機関誘致、医師確保に引き続き取り組む。

ここが  
聞きたい

## 行政サービスの向上は

問

役場職員のさらなる資質及び行政サービスの向上に向けて、具体的にどのように取り組むのか。

答

指導能力研修や法令実務研修などの各種研修等の実施、北海道などとの

人事交流を積極的に活用していく。また、デジタル田園都市の実現には、全ての職員において、デジタルリテラシー、ITスキルの向上を図ることが重要であるので、しっかり取り組んでいきたい。

※1 PFI…民間の資金や能力を活用して公共事業を行うこと。

※2 リース方式…民間が資金調達から、公共施設の設計や建設、運営等までトータルで行い、その対価をリース料として支払う契約方法。

※3 当別町除排雪連絡協議会…町民、除雪業者、町の三者の協働により、冬期の道路環境向上を図るための組織

# 代表質問 会派爽新 古谷 陽一 議員

質問の  
ねらい

## 基幹産業の農業の持続的発展を！

当別町の基幹産業である農業を今後も後継者が引き継いでいくためには、スマート農業の推進と基盤の整備が必要であり、農業用施設の老朽化対策、鳥獣害の対策について質した。また、町の宝である「子どもたち」

をしっかり育てていくことや、大雪の経験から除排雪体制をどう再構築するか質した。また、令和4年4月の「とうべつ学園」開校に向けた具体的な取り組みについて質した。



ここが  
聞きたい

## 農地の整備とスマート農業

問

開拓当初から農業を基幹産業として発展。後継者が安心して農業を引き継ぐためには、農地の基盤整備やスマート農業のための通信インフラの整備が必要。町はどのように関わっていくのか。

答

通信インフラをさらに強化するため、農村部の光回線整備を進めているので、スマート農業へのきっかけとしてほしい。農地基盤整備も土地改良区などと連携して計画的に進めていく。

ここが  
聞きたい

## 鳥獣被害の対策は

問

鳥獣の行動範囲が拡大し、年々個体数が増加。高齢化によりハンターも減少。農業者が安心して営農ができるよう、そして、市街地の住民が安全な暮らしができるよう早めの対策が必要では。

答

ハンターの育成や確保、デジタル技術を活用した捕獲について研究を進め、対策を強化していく。ハンター減少や鳥獣害対策の予算確保は全国的な問題。国に対策を講じるよう要望していく。

ここが  
聞きたい

## 「子どもたち」は町の宝

問

子どもの成長に応じたきめ細かな各施策について、どのような基準で優先順位を決めるのか。また、子育て世帯がどのような支援や環境が必要なのか、アンケート等で情報収集を行う考えは。

答

経済負担軽減となる施策を中心に必要な支援を見極めて判断する。情報収集は、子育てに関する計画策定時の他、子どもの健診等でのアンケートや声を活用する等手法にこだわらず努めていく。

ここが  
聞きたい

## 除排雪体制の強化を！

問

昨シーズンは大変な大雪となり、800件にも及ぶ苦情が殺到した。除排雪は町民の生活に直結するものであり、非常に重要な案件。除排雪体制の強化、再構築についての考えは。

答

昨シーズンの教訓を生かし、小型除雪機の町内会貸し出し、夜間排雪作業の試行、除雪班や排雪班の再構築、太美地区の排雪ローテーション見直し等、新たな除排雪の仕組みに取り組んでいく。



とうべつ学園建設工事現場（下川町）

ここが  
聞きたい

## 「とうべつ学園」の開校

問

令和4年4月「とうべつ学園」が開校する。ICTの積極的活用や、一貫教育の魅力により子育て世帯の転入を期待しているとのことだが、今後どのような取り組みを行っていくのか。

答

地域と共に児童生徒にデジタル社会を生き抜く力を育成していく。また、一貫教育により、より良い教育環境を整え、他のまちと差別化を図り、子育て世帯の転入につなげていく。



## 代表質問 会派緑風会 秋場 信一 議員

質問の  
ねらい

### 雪害対策で住み続けられる町を！

所信表明では、除排雪対策と役場庁舎の建て替えについて具体的な方針が示された。特に今後の除排雪については町民の最大の関心事と捉え、3月議会より踏み込んで災害対策の視点で伺った。新庁舎について

は、場所の条件や施設機能など構想から計画までの合意プロセスについて伺った。また、とうべつ学園を核とした人口獲得策について、スクールバスのインセンティブや将来の太美地区への新設校について伺った。

ここが  
聞きたい

### 大雪時の危機管理対策は

問

昨年のような災害級の大雪は今後も予想される。住民の不安をなくすには地震や台風や水害などと同様の危機管理が必要と考えるが、そのような認識と体制は持っているか。

答

災害同様の高い危機意識を持って道路管理に努めているが、道路情報の発信など注意喚起を併せて行うことが重要。国道や道道管理者、警察、防災部局と連携を密にし、安全対策を図っていく。



雪に埋もれた末広団地（本人提供）

ここが  
聞きたい

### 昨年の教訓は活かされるか

問

大雪時の除排雪について、新しい手法はあるのか。また、従来の体制における課題を解決するため、当別環境整備協同組合以外との連携も必要とのことだが、どのような連携が必要なのか。

答

新しい方法として、大雪時の夜間排雪を試行的に進めていく。また、当別環境整備協同組合以外との連携については、体制強化を進めるにあたって重要であるので、引き続き検討していく。

ここが  
聞きたい

### 新庁舎はいつどこに

問

候補地の選択には何が優先されるのか。また、建設場所の決定プロセスにおける議会との関わりについて、どのタイミングで、どのような提案がされるのか。

答

9月末頃にまとめる基本構想案をもって議会にお示しできると考える。各候補地のメリット、デメリットは現在整理しているが、防災上、早期建設が求められるため、町有地活用が基本となる。

ここが  
聞きたい

### 教育を柱に移住促進を図る

問

とうべつ学園開校を好機と捉え、若い世代の人口獲得の取り組みとして、小学校1年生から4年生の児童が、安心して登下校できるようにスクールバスで送迎を行うてはどうか。

答

とうべつ学園が開校すると一部児童の通学距離が遠くなるので、距離や時間、安全確保、体力面など低学年への配慮は必要。地域交通の在り方として、スクールバスも含め総合的に考えていく。

ここが  
聞きたい

### 太美の義務教育学校新設は

問

太美地区の一体型義務教育学校建設について、前町長と同じ考えで、人口の増減に関わらず進めていくのか。

答

前町長と同じ考えだが、まちづくりや西当別地区の開発の動向を注視し、人口推移等を見極めながら判断しなければならない。

【その他の主な質問項目】

当別町除排雪連絡協議会から出た解決策

# 代表質問 会派公明 五十嵐 信子 議員



次のページは

令和2年度決算審査 決算と施策の成果について説明と質疑が行われました。

## 質問のねらい 誰一人取り残されない対策を！

町民にとって住みよい環境づくりを構築していくためには、お互いを尊重しあい、支えあい、意識改革をしていくことが必要である。風通しを良くして、町民へ分かりやすい発信をしていくことが重要。町民に寄

り添って施策に取り組むべきと質した。今後のデジタル技術の導入によって、行政上の各種申請・交付の手続きも大きく変化。その恩恵を誰もが受けられるよう環境整備に努めるべきと質した。

## ここが聞きたい 町民との良い信頼関係を

**問** 所信表明で掲げた「ハートフル・ファースト」は、町民と真摯に向き合い、一人ひとりの声を拾うハートフルな関係を築くことが重要。町民にどのような発信をして絆を深めていくのか。

**答** 人と人との絆が深まるよう意識して施策を展開すべき、と掲げたものであり、施策実施の際、意識している内容が伝わるようコミュニケーションを取り、丁寧な情報発信に努めていく。

## ここが聞きたい 安心できる在宅医療体制を

**問** 担い手となる医師、看護師、介護職員はまだまだ不足しており、安心して在宅医療を受けられる体制は十分には整備されていないが、どのような多職種連携や人材育成を展開していくのか。

**答** 医療・介護の多職種の方が持つ専門性を結び付け、関係機関との情報交換、処遇困難事例の対応検討を行い、多職種との連携と併せて知識や能力の向上を図っていく。

## ここが聞きたい 常に寄り添う福祉の成熟へ

**問** 住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けられるように、どのような取り組みを行い、当別町らしい常に寄り添う福祉を成熟させていくのか。

**答** 町では身近な相談ができる体制づくりに努めており、地域包括支援センターがその中心を担っている。最近は複雑な相談が多いため、体制強化や民生委員等の協力を得て福祉の成熟に繋げたい。

## ここが聞きたい 情報格差の解消を！

**問** コロナワクチン接種予約の際、高齢者は戸惑いと不安を抱えていた。行政のデジタル化で高齢者が不便を感じないよう情報格差解消が必要。身近な場所で端末に触れる機会を持つべきでは。

**答** 高齢者向けスマホ教室を開催し、デジタル端末を身近に感じてもらう場を創出したい。また、子どもが高齢者に教えるといった多世代交流により福祉につながる仕組みも構築していきたい。



マイナンバーカード見本 (総務省提供)

## ここが聞きたい マイナンバーカードの促進

**問** マイナンバーカードを積極的に取得してもらうため、具体的にどのような方法で、高齢者に分かりやすい、利用しやすいデジタルサービスを提供していくのか。

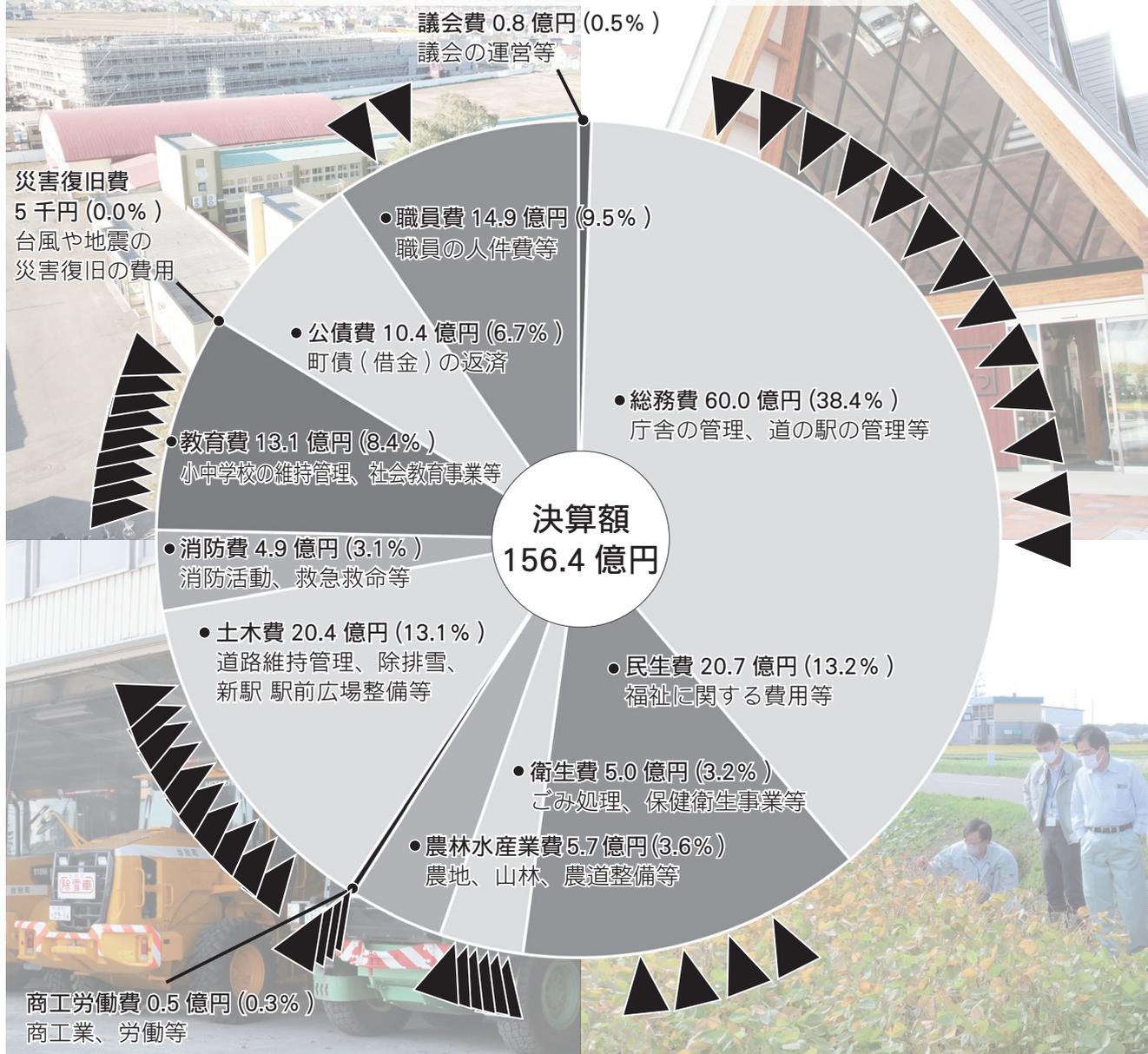
**答** 今までも写真撮影から交付申請までのお手伝い、夜間窓口開設、限定郵便による配送等を実施。これらの周知の強化や交付申請サポート強化期間の実施等、さらなる取得促進を図っていく。

# 私たちは、ここに注目しました！

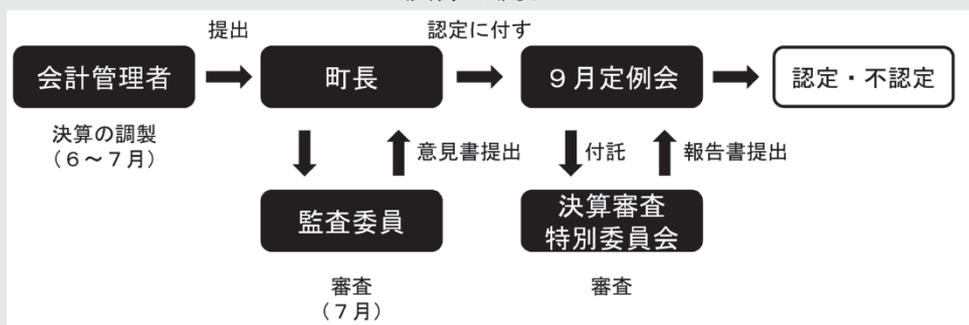
## 令和2年度 各会計決算審査

### 一般会計歳出 ※一般的な行政にかかる経費の支出

▶ … 決算審査で各委員が質問したところ



### 決算の流れ



決算審査特別委員会  
インターネット動画配信



議会だよりに掲載していない  
質疑の様子が見られます。

## 公共交通の維持・発展

総務費

### ふれあいバスの安定運営は

地域公共交通活性化協議会負担金 2,466 万円

問

地域公共交通活性化協議会<sup>※1</sup>の積立金の状況は。公共交通は、現在の状態で何年くらい安定運営が見込めるのか。

答

この2カ年、積立金を崩して経費に充てるよう

な状況ではなかったが、コロナ禍の収入減、運行経費の増加、国補助金の減が見込まれ、今後は崩す可能性が出てくる。それに伴い、この協議会への事業者負担金を増額する検討も必要になってくると考えている。

総務費

### 札沼線代替バスのルート

月形当別線バス運行事業 2,063 万円

問

札沼線代替バスのルートについて、金沢と中小屋地区から、275号線の内側を通っている旧道を中小屋の入り口まで通れないのかというような要望が出ていた。昨年度の協議検討等の状況は。

答

要望が出ていることは承知しているが、国道だけでなく町道の整備も必要。整備には多額の費用が伴うため、要望については、町道の整備と併せ、財政状況を踏まえて引き続き検討していく。

## 通信インフラの整備

総務費

### 高速回線の整備へ向けて

高度無線環境整備事業 3,721 万円

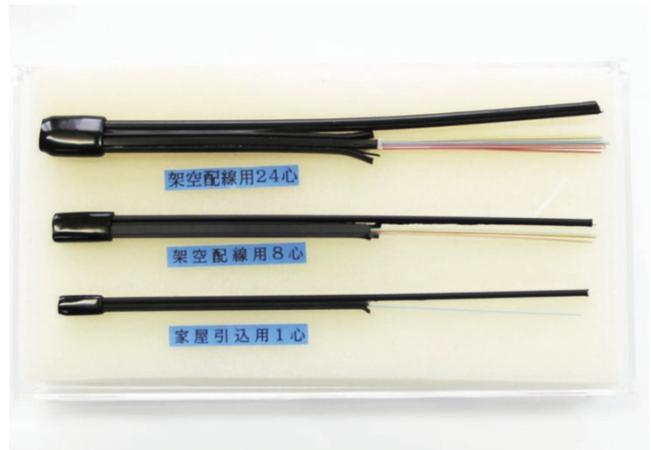
問

高度無線環境整備事業について、決算額3,721万2,000円とのことだが、この委託業務内容の詳細は。

答

高度無線を施工するための設計業務であり、内

容としては、NTTの局舎から各家庭などへ、光ファイバー<sup>※2</sup>を張り巡らせるために必要な管路設備や電柱の状況などを調査しながら、どれくらいの光ファイバー線を張るべきか設計したというものである。



光ファイバー線のサンプル

## 心身の健康へ向けて

衛生費

### 日本脳炎ワクチン

各種予防接種事業 1,598 万円

問

予防接種事業について、日本脳炎のワクチン接種人数が、昨年より約200人少なくなっている。ワクチンが不足している話も聞かすが、当別町の現状は。

答

ワクチン製造会社2社のうち1社が製造を中止し、流通が少なくなっている状況。町では1回目の接種となる3歳児を優先接種として周知しており、希望者全員が接種できている。

衛生費

### 救急安心センター相談傾向

救急安心センター事業 116 万円

問

救急安心センターさっぽろへ相談390件、119番転送43件とあるが、この中で町として重視しなければならないことなど、センターからの報告を基に調査検討していることはあるか。

答

昨年、コロナで休日当番医を中止したことがあり、町内医療機関を受診できなかったことも相談件数に反映されたと考えている。現在は医療機関等と休日当番医の運営について協議している。

※1 当別町地域公共交通活性化協議会…町民生活に必要な地域公共交通の確保や利便性増進のため、地域公共交通活性化再生法と道路運送法に基づき、地域の実情に即した公共交通の実現に向けて協議を行う組織

※2 光ファイバー…光の物理的な性質を利用して信号を伝えるケーブル

## 新型コロナの影響続々と…

### 職員費

#### 職員の時間外勤務の実態

職員手当等 4億 2,680万円

#### 問

働き方改革などいろいろと言われているが、前年度と比べて職員の時間外勤務手当が減額となっている。具体的にどのように改善したのか。

#### 答

コロナで業務が増えた部署もあるが、全体としては経常的なイベントがなくなったことや、時間外縮減の取り組みの継続により減額されたと考える。平常時に戻った時には改めて検証していく。



ふれあい倉庫

### 商工労働費

#### 企業誘致にもコロナの影響

企業立地促進事業補助金 50万円

#### 問

企業誘致に関して、コロナの影響によりセミナーや訪問などが行えていなかったと思うが、昨年好感触だった2社とは、電話やメール等での連絡は取り合っていたのか。

#### 答

昨年度はコロナの影響により企業を訪問できなかったが、電話等でやり取りはしている。ただ、企業もコロナの影響があることから、移転についてまでは考えが及んでいないという結果だった。

### 商工労働費

#### ふれあい倉庫利用者数

商工振興費 3,812万円

#### 問

当別ふれあい倉庫について、コロナの影響をいろいろと受けているかと思うが、野菜などを販売しているコーナーの来客数やふれあいホールの利用者数は、前年と比べてどうだったのか。

#### 答

入場者数については49,102人、前年比で約1万人の減、ふれあいホール利用者は40,239人、前年比約6,000人の減となっており、どちらもコロナの影響が大きいと捉えている。

## 町内の大規模盛土調査 大雪対策

過去の大地震では、谷や沢を埋めた盛土が地滑りを起こし、崖崩れや土砂崩れの被害が多く発生しました。それを受けて、大規模盛土造成地の有無、それらの安全性の確認を行い、危険性が高い箇所の工事など予防対策を進めることが重要とされており、当別町においても調査を実施しました。

### 土木費

#### 町内の大規模盛土造成地

大規模盛土造成地調査事業 206万円

#### 問

大規模盛土造成地に該当する町内11か所の土地について、変動予測調査を行い、必要に応じて対策工事を施すとのことだが、結果として工事を施すような土地はあったのか。

#### 答

大規模盛土造成地として町内で11か所が抽出されているが、今回の調査では盛土の地滑り等を示唆する変状が見られるなど、そういう緊急を要する箇所はなかった。

### 土木費

#### 大雪時は災害対策本部を

町道除排雪事業 6億 6,712万円

#### 問

2月の大雪は、3つの国道が通行止めとなる大変な状況となったが、町は災害対策本部を立ち上げなかったと聞く。この問題についての今後の改善策は。

#### 答

冬季雪害対策マニュアルの下、危機対策部門、除雪対策部門、国、道、消防、警察、気象台が連携して対策している。災害対策本部は、その効果も検証し、内部マニュアルの改善を図っている。



昨シーズンの大雪の様子



# 子育て・教育環境の充実へ

次のページは

常任委員会審議

補正予算などの説明と質疑が行われました。

土木費

## ココット COCOTTO の入居条件

子育て世帯向け公営住宅整備事業 7,006 万円

問

中学生以下がいる世帯が優先のため、お金のかかる高校進学時に更新できないことが想定される。それで申し込みにも二の足を踏む人もいと懸念しているが、中学生と高校生で分けた経緯は。

答

一定の小さな子どもがいる世帯へという意味で中学生以下から始めたが、今後の運用の中で、見直しも含めて、声を聞きながら進めていきたい。

教育費

## 古文書のネット公開は

歴史研究専門員報酬 225 万円

問

古文書等の公開については、公開の段階で個人情報など注意を要する点もあると思うが、オンライン上で写真が見られたり、資料検索できたりなど、そういう方法は実施しているのか。

答

紙資料は 9,000 点を超え、職員総動員で整理している状況。データ公開も、写真だけでなく付随する情報も含むと膨大な作業量になるので、今後の利用状況を見て公開方法は検討する。

# 介護難民が出ないように



総合保健福祉センターゆとり

介護サービス

## 介護サービス事業の赤字は

デイサービス事業・ホームヘルプサービス事業

問

介護サービス事業特別会計について、実質収支が令和 2 年度 1,283 万円が赤字となっているが主な要因は何か。

答

デイサービス、ホームヘルプサービスともに

コロナとは関係なく、ここ数年利用者増加が見込めていないことが大きな要因。また、利用者の要介護度によっても収入が増減することなどの状況により、最終的な赤字額となっている。

介護サービス

## 介護サービスの将来は

デイサービス事業・ホームヘルプサービス事業

問

町にはサービスを提供し続ける責務もあるが、赤字が続くようであれば、事業を継続して良いのかという問題も出てくる。介護サービス事業は今の体制で続けていく考えなのか。

答

町民が介護難民にならないことが大前提だが、赤字が続くのも当然良い状況ではない。2つのサービスは、令和 5 年度までの契約期間の中で、今後の方向を定めていかななくてはならない。

### 【その他の主な質問項目】

防災マップのホームページへの掲載、ふるさと納税ポータルサイト利用割合、防災用ミルクの備蓄と更新、妊娠・子育て臨時給付金の効果、保育士等就労支援事業、新庁舎整備に係る基本構想、とうべつ学園の校歌や校章の製作業務、図書館の運営 など

## 『適正な決算と認定』 決算審査特別委員会報告



令和 2 年度各会計決算審査特別委員会  
西村委員長（写真左）・鈴木副委員長（写真右）

### 起草委員会

委員長 山崎 公 司  
委員 古谷 陽 一  
委員 秋場 信 一  
委員 佐々木 常 子

決算委員会の審査結果報告文書を作成する委員会

8/11に総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会を開催し、令和3年度補正予算などについて説明があり、それに対して質疑が行われました。

## 進む新型コロナワクチン接種

産業厚生

### ワクチンパスポートとは

問

ワクチンパスポートの受け付けが7月26日から始まったとのことだが、たった5件しか申請がない。ワクチンを2回接種した方は50.7%もいるが、申請が5件の理由は何かあるのか。

答

ワクチンパスポートは、海外渡航の際に隔離免除目的で発行される証明書。対象は現在12カ国しかなく、その国でなければ免除はされないため、実用化はまだ先と考えている。

※海外渡航用の新型コロナワクチン接種証明書（ワクチンパスポート）は、11月19日現在、76の国と地域に対象が広がっています。詳細は外務省のホームページをご確認ください。

産業厚生

### ワクチンの接種率と供給

問

12歳以上の町民全員が接種することは考えにくいですが、町として、全町民の接種率はどれくらいを見込んでいるのか。また、今後ワクチンは希望通り供給されるのか。

答

接種率は8割を想定。現在は必要な量が供給されている。不足する地域もあるが、8割以上の町民が接種できるよう引き続き要請していく。

産業厚生

### 私道の陥没による事故

問

町道に準ずるような生活道路が多くあるが、そのような私道の陥没による事故は、誰に責任があるのか。また、雪解け後に町道の破損があるが、現在町道で陥没している箇所はあるのか。

答

あくまでも町道は町、私道は個人の責任。町道の陥没は随時確認しているが、パトロール後に穴が開く場合もあり、現在ないとは一概には言えない。状況を確認して速やかに修繕を行っている。

新型コロナウイルスワクチン 予防接種済証(臨時)  
Certificate of Vaccination for COVID-19

1回目	COMIRNATY	
接種年月日	コミナテイ筋注	
2021年	製造番号:FF0843	
9月6日	最終有効年月日:2021/10/31	
接種場所	製造販売:ファイザー株式会社	
	BIONTECH	
	Pfizer	
	西当別コミュニティセンター	

新型コロナウイルス  
ワクチン予防接種済証  
(一部抜粋)

産業厚生

### 接種済み証明書は

問

ワクチンを2回接種したことの証明書について、町として発行することは考えていないか。

答

接種を受けた時に、シールを貼付して配布して

いるものが接種済み証明書となる。接種の最後にお渡ししており、ご本人の接種した日付が書かれている。それが現在は証明書として使われている。

産業厚生

### ワクチンの廃棄はあるか

問

ワクチンの保管状況が悪かったり、廃棄せざるを得ない状況になったケースが他自治体ではあると聞かすが、当別町ではワクチンが廃棄や無駄になった事例はあるか。

答

当別町では、現在そのような廃棄などはない。キャンセル等が出た場合は、未接種の職員等に打つなど、なんとか無駄にならないような体制を取っている。

## 雪解け後の道路の穴

産業厚生

### 私道の陥没による事故



道路の穴の例

総務文教常任委員会（9/15）、産業厚生常任委員会（9/16、27）を開催し、令和3年度補正予算や条例制定、東日本電信電話株式会社とのデジタル田園都市の実現に向けたパートナー協定、町内会への小型除雪機貸与制度の試行などについて説明があり、それに対して質疑が行われました。

## 道の駅運営にも給付金・助成金

総務  
文教

### 株) tobe も支援を受けて

問

コロナ対策支援の関係では、いろいろな支援金があると思うが、道の駅を運営する株式会社 tobe はそのような支援金を受けていないのか。

答

コロナ対策支援として、経済産業省の持続化給付金や厚生労働省の雇用調整助成金を株式会社 tobe としても受けており、それらは営業外収益の雑収入として計上していると聞いている。



北欧の風 道の駅とうべつ

## コロナ禍でも教育機会の確保を

総務  
文教

### リモート授業は出席扱いか

問

コロナの感染予防として、リモート授業に参加した場合は出席、出席停止、欠席のどれになるか。どのような運用か。

答

感染対策で、やむを得ず登校できない場合は、

欠席とはならず出席停止扱い。感染対策のためクラスの半分が学校、半分がリモートとなった場合、そのリモート参加は出席扱いとなる。いずれも国の基準に基づき、児童生徒に不利益がないよう対応している。

総務  
文教

### 合同部活 生徒の移動手段

問

合同部活動で、当別中学校を拠点とした時は西当別中の生徒が来る形で行うと思うが、部活がスクールバスの時間に合わない場合など、生徒の足の確保はどのようになっているか。

答

当別、西当別間の部活動の往来は自己負担で、ふれあいバスや自転車を使っている状況。スクールバスの下校便は、統廃合で中学校がなくなった地域の中小屋と弁華別だけである。

総務  
文教

### スポーツ少年団との連携

問

地域運動部活動推進事業の中で、町内のスポーツ少年団との連携や連携の可能性の検証などは行われるのか。

答

本事業の検証をする外部団体の地域協議会に、

学校や町の少年団関係の方にも参画いただきながら連携を進めていきたい。学校には少年団等の情報もっており、学校ではどのスポーツの希望が多いかも情報収集しているので、団体と協議しながら進めたい。

総務  
文教

### 不登校の子どもへの端末活用

問

一人一台端末の活用について、不登校の子どもにはどのように学びを充実させているか。学校に通っていない子どもが通うところでは、端末を見ることが出来るのか。

答

配信可能な家庭には学校の授業を配信したり、適応指導教室での学びも続けている状況。適応指導教室は通信環境が未整備だが、そこで端末を使うことも効果的と考えているので検討していく。

## 経済対策 と ワクチンの副反応

産業  
厚生

### 飲食店の第三者認証制度

問

コロナ対策をしっかりと実施しているということで、町内4事業者が道から認証を受けた。これによりお客さんもお店へ足が向く。今後より多くの事業者が認証を受けられるよう取り組んでは。

答

今回の4つの飲食店が8月から道で試行している第三者認証制度の認証を受けるためのノウハウを持っているので、商工会などを通じて、他の事業者へ広がっていくと考えている。

産業  
厚生

### 2回接種後の副反応

問

今までワクチンを2回接種した方で、体調の変化や具合が悪くなったなどの報告は当別町にはあるのか。

答

8月末現在、ワクチン接種における副反応疑いは26名と国から報告を受けている。主な内容は、接種部位の痛み、血圧上昇、頭痛などで、その中で重症化に至ったなどは特に聞いていない。

※第三者認証制度は、北海道が定める感染防止対策に必要な事項について飲食店の取組状況を確認し、対策が実施されている場合に認証する仕組みです。飲食店の感染対策を第三者がチェックすることでより確実な取り組みにするとともに、飲食店を利用するお客様に感染防止対策に取り組んでいるとアピールすることができます。試行期間を経て、現在は「北海道飲食店感染防止対策認証制度」となっています。詳細は北海道のホームページをご確認ください。

## 新たな除排雪体制へ向けて

産業  
厚生

### 町内会へ除雪機貸し出し

問

補正予算で3町内会に除雪機を貸し出すようであるが、この事業をやるうとした背景は何か。また、今後は全町内会を目指すのか、新年度はもっと多くの町内会に貸し出すなどの考えは。

答

全町内会が集まる雪対策連絡協議会で、置き雪などで使ってもらえるのではと町から提案した。そこで3町内会が手を挙げてくれた。今後、さらに使いたいとなれば増やしていく考えである。

産業  
厚生

### 除雪機の保険は

問

小型除雪機を貸し出す際の事故の保険や、使用時にけがをした、させたなどの保険もあるが、その辺りはどうなっているのか。

答

基本的には、保険は町内会で対応してもらい、あくまでも町は小型除雪機の貸し出しのみ。燃料の関係も町内会負担と考えているが、今後の状況を見て考えていく。



除雪作業の様子

産業  
厚生

### 町道除排雪業務の補正

問

町道除排雪業務の増額補正予算で、令和2年度も2,000万円ほど9月に補正しており、今回は5,000万円と大幅な補正だが、内訳としては機械損料や諸経費の補正が大きかったのか。

答

環境整備組合の人手不足や担い手不足、高齢化などで組織体制が脆弱化し、体制維持が危惧されている。体制強化、人材確保・育成のため水準を上げなくてはならず、機械損料と諸経費を増額。

# 一般質問

佐々木 常子 議員

質問の  
ねらい

## 安心・安全の当別町に！！

保証人の確保が困難であることを理由に公営住宅に入居できない事態が生じている。住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸する公営住宅の目的を果たすためには、保証人確保を入居の条件とすることを転換

すべきではないか。また、昨年度は大雪により大変な状況に見舞われたが、町民が安心・安全に暮らしていくための新しい体制や人員の確保、堆積場の確保はできたのか。



ここからは



町営住宅（春日団地）

ここを  
聞きたい

## 入居条件を転換すべき

**問** 町営住宅の入居は保証人を必要としている。保証協会では費用がかかり結構な負担となる。住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸するという公営住宅の目的が果たせていないのでは。

**答** 法人保証制度を設け、入居しやすい環境づくりに努めてきたが、今後、保証人確保が困難な方の増加が想定されるため、制度の在り方について、どのような形が公平かつ適切か研究を進める。

ここを  
聞きたい

## 除排雪の新しい体制は

**問** 豪雪地帯の当別町に住み続けていくためには、除排雪体制が非常に重要。業者を増やすとのことだが、何社の見込みか。人員の確保や雪堆積場の確保はできたのか。

**答** 業者数を増やすのではなく、現在の除排雪組合内で担当エリアや人員配置の再編を行い、円滑化、効率化を図ることとしている。雪堆積場は、下川、当別太、上当別での拡大を進めている。

ここを  
聞きたい

## 町民と連携して大雪対策を

**問** 大雪時の急病など不安な声や苦情が多く寄せられた。町内会への除雪機貸し出しは、危機対策の1つと考えられる。町民、自治会、行政がうまく連携すれば安心を増やしていけるのでは。

**答** 小型除雪機械の貸与は、除排雪連絡協議会で多くの声があった置き雪などの対策として、今年度試行的に実施する新たな協働の取り組み。地域と連携し、課題に寄り添い、安心を増やしていく。

ここを  
聞きたい

## 安心のための備えを

**問** 乳児用紙おむつや大人用紙おむつ、生理用品も必需品。自身でしっかり用意しておくものだが、いつ起きるか分からない災害に対して、すぐさまないと困る必需品は、備蓄しておくべきでは。

**答** 生活必需品は各自で備蓄するよう啓発しているが、突発的な災害では、着のみ着のままの避難も想定されるため、品目や数量については計画的に備蓄するよう、女性の視点を大切にを進めていく。



防災備蓄品の一部

【その他の主な質問項目】  
町営住宅入居に係る保証人確保の困難な要配慮世帯や要配慮者への保証人免除 など

一般質問 6人の議員が登壇し、町政に対する質問をしました。



# 一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の  
ねらい

## 男女共同参画基本計画の策定は

国の最重要課題として位置付けられている「男女共同参画基本計画」を策定し、目標を掲げて取り組むべき。公共施設は災害時の避難所にもなるため、トイレは早急に洋式へ改修すべき。特に学校においては毎日

使用する子どもたちへの配慮が必要。また、太美地区の高齢者、障がい者、免許返納者よりふれあいバスの利便性について要望があり、関係機関と工夫を凝らし、さらなる利用促進に向け努力すべきと質した。

ここを  
聞きたい

## 男女共同参画社会基本法

**問** 全国の自治体において、国の策定した基本計画を基にさまざまな施策が実施されている。当別町においては、この基本法をどのように捉え、どのように認識しているのか。

**答**

計画策定に努め、男女共同参画社会推進への取り組みが責務である旨の規定と理解。町は未策定で、全道でも56市町村、31.3%しか策定しておらず、進んでいない状況も承知している。

ここを  
聞きたい

## 計画の策定予定は

**問** 内閣府によると、当別町は今後策定予定となっている。今後、計画を策定し、明確な意義と目標を掲げて取り組む予定はあるか。あるならば、いつまでに策定し、町民に説明していくのか。

**答**

法律制定時に比べ社会情勢が多様。社会全体に関わる意識の変革等が一般的と認識。法律がさらに充実整備され、現代社会に即した改正がされた時点で推進計画の策定へと進めていきたい。

ここを  
聞きたい

## 早急にトイレは洋式化へ！

**問** 地域の避難所でもある西当別小・中学校のトイレの整備は不十分。子どもたちが安心して毎日健やかに学習、生活ができ、町民が安心して避難できる環境の整備が急務では。

**答**

令和元年度、西当別小学校体育館の2基の洋式化にとどまっている。児童生徒の快適な環境づくりは重要であるので、財源は限られているが、トイレ改修などについても取り組んでいく。



和式トイレ (西当別小学校)

ここを  
聞きたい

## 利便性良いふれあいバスに

**問** 高齢者、障がい者、運転免許返納者は、交通費に負担を感じている方もいる。利便性を高めるため、2つの地区を往来できるようなデマンド交通を西当別地区でも導入すべきでは。

**答**

町内全域をエリアとするには、経費や効果はもちろん、既存の公共交通事業への影響も慎重に判断することが必要。今後の利用状況を見て、デマンド交通エリアの設定を検討していく。

ここを  
聞きたい

## 交通業者や商工会と連携を

**問** 交通弱者に対して、町内で利用できる交通チケットやお店で使えるクーポンの配布などを検討して、ふれあいバスの利用促進を工夫しては。

**答**

高齢者が積極的に行動できるよう支援する仕組みが必要。冬季の買い物や通院の移動手段は大きな課題。必要な方に支援できる仕組みの構築に向けて、関係団体と研究を進めていきたい。

# 一般質問

佐藤 立 議員

質問の  
ねらい

## 町民参加の図書館運営を

行政手続のオンライン化にあたっては、多くの町民が具体的なメリットを感じることができるとともに、職員の事務負担も軽減することができるように、個々の行政手続ごとに認証の必要性や申請自体の必要性を

含め、既存の業務フローを見直すことが必要ではないか。図書館運営にあたっては、町民が自分たちの図書館として支えるという意識を醸成できる環境を構築する必要があるのではないか。



ここを  
聞きたい

## 24時間オンライン手続き

**問** 行政手続がオンライン化されれば、役場に行くことなく24時間いつでも手続きができ、子育て世帯をはじめ多くの町民にメリットがある。役場の全ての手続のオンライン化を目指すのか。

**答** 国が示すオンライン化対象事業は31業務で、内訳は都道府県が4業務、市町村が27業務となっている。町としては、この27業務の確実なオンライン化を進めていく考えである。

ここを  
聞きたい

## 業務を見直しサービス向上

**問** デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、行政サービスの更なる向上が求められる。個々の行政手続ごとに、認証の必要性や申請自体の必要性を含め、既存の業務を見直すのか。

**答** 行政手続のオンライン化自体がゴールではなく、個々の行政手続ごとに業務フローをいかに最適化・効率化できるか、既存の業務フローの見直しも並行して行うことが必要である。

ここを  
聞きたい

## 町民が支える図書館へ

**問** 図書館運営には、町民が自分たちの図書館として支え運営に参画できる環境を構築する必要がある。ボランティアなど町民が自分たちの図書館と思える環境整備が必要ではないか。

**答** ボランティアに蔵書の管理、読み聞かせ、破損本の修繕等の役割を担ってもらっている。今後も協力いただけるよう先進的事例を参考に、活動の幅を広げられるよう環境整備に努めていく。

ここを  
聞きたい

## 町民参加の図書館運営

**問** 図書館ボランティアの活動の幅を広げていきたいとの答弁があった。今後、町民がボランティアの枠を超えて、図書館運営について議論をしていく場を設ける必要があるのではないか。

**答** 図書館運営協議会は社会教育委員会が当面担当が、未来永劫ということではなく、状況に応じて必要なものを作り、必要な人を入れることも当然必要。状況を見ながら適宜判断していきたい。



当別町図書館内部

ここを  
聞きたい

## 常勤司書の配置を目指せ

**問** 図書館整備を見据えて、蔵書購入費の増額、常勤司書の配置を段階的に実施する必要があるのではないか。

**答** 図書購入費は図書館機能充実に重要な予算。確保に努めたい。司書は常勤、非常勤など、今後検討を進めていく。

【その他の主な質問項目】  
行政手続のオンライン化に向けた今後のスケジュール、役場新庁舎の検討体制 など



## 一般質問

澁谷 俊和 議員

質問の  
ねらい

### 選挙中、後藤正洋氏は宮司だった

先の町長選挙の期間中、後藤正洋の職業は宮司だった。選挙ビラと選挙公報配布前に登記を済ませる手続きをするべきではなかったか。宮司は代表役員で、登記が変更の要件となっており、それをしていない以上、

前宮司の表現は公職選挙法第235条第1項に違反、経歴詐称となり重大な選挙違反である。なぜ後藤町長は告示前（選管の書類審査前）に変更の要件である登記をしなかったのか。

ここを  
聞きたい

### 宮司と神職の区別、違いは

問

神職はあくまで身分。例えば教員免許を持っていても、教師をしていなければ職業は教師にならない。同様に宮司でなければ職業は神職にならないと思うが、町長になるための名称工作では。

答

宮司は辞職したが、資格である神職は失われるものでなく、調理師、弁護士、僧侶等と同様の意味合いで、職業として神職を名乗っている。名称工作をして選挙活動を行ったことは一切ない。

ここを  
聞きたい

### 町内会費と神社費用の関係

問

町内会費に神社維持費、初穂料、祭典代等が含まれ、拒否したら町内会をやめさせられると聞く。町民の信仰の自由、これは憲法で保障されているが、これは断固として守っていくのか。

答

町内会は地域の自主的な組織。運営に行政が介入すべきでないという理解している。地方自治体が憲法に従うのは当然。今まで以上に厳しく身を律し、法令遵守の原則に徹して町政執行に努める。

ここを  
聞きたい

### 宮司退任は登記が必要では

問

神社本庁の規定では、宮司の変更は登記が必要とされている。7月8日の選管事前審査、18日の町長選挙の前までに手続きを終わらせていなければ、前宮司というのは虚偽になるのでは。

答

6月30日の辞表提出時点で完結しているという認識。7月1日以降も神社の事務や社務には一切関わっていない。詐称する意思もないし、そういうことは実際はないと断言させてもらう。



現在の役場庁舎

ここを  
聞きたい

### 新議長に自分の後援会長

問

多くの町民は、議会も意のままにするのではと心配している。選挙の勝因は、町議中心に組織的な選挙ができたことと報道されているが、その時点で次期議長には後援会長と決めていたのでは。

答

町長は、議会の議長選出に何の権限も持っていない。議会を意のままにとのことだが、町長にそのような権限があるはずもなく、議会の議論をねじ曲げたり、妨げたりすることはあり得ない。

ここを  
聞きたい

### 神職で受け付けた選管は

問

なぜ選挙管理委員会は資格である神職を職業として受理したのか。選挙管理委員会の不正関与はなかったのか。事実関係も含めてははっきり教えてほしい。

答

立候補届出の受理は選管ではなく選挙長の事務。候補者からの提出書類を形式的に審査し、要件が具備されていれば受理される。誰だからということで受理、不受理が変わるものではない。

※選挙管理委員会事務局が答弁



# 一般質問

鈴木 岩夫 議員



質問の  
ねらい

## 米価下落と干ばつの影響、対策は

後藤新町長は、笑顔を実現する4つの「ファースト」を掲げて選挙戦を戦った。4つの「ファースト」実現に向けて具体的な内容を明らかにすべく質した。新型コロナ対策については、8月本町でも感染が急拡大

し、感染しても入院、入所できない事態が生じた。原則入院を堅持できるように質した。西当別風力発電事業計画については、6月定例会での宮司前町長の答弁を尊重した対応を継続するよう確認のため質した。



米の収穫の様子

ここを  
聞きたい

## 干ばつの影響とその対策は

**問** 今年には過去に経験したことのない干ばつと猛暑に見舞われた。野菜農家中心に大きな打撃を受けたと聞く。干ばつの影響とそれに対する町の対策は。

**答** 雨の降らない期間に作付、収穫した野菜の一部に影響。農業者の収入保険があるが加入者が少ないので、改めて周知しつつ、農業を継続できるよう農協と情報共有して、影響把握に努めていく。

ここを  
聞きたい

## 米の価格下落対策は

**問** 米の価格下落対策として、従来の政策的枠組みにとらわれない対策を緊急に国に要請すべきでは。また、町内に在住する学生の支援として、農協と協力して、おこめ券を配付しては。

**答** 要請は、今後の対応を注視しつつ、町村会、北海道、各農業団体と足並みをそろえ、対応していく。また、おこめ券の配布は、農協の意見も聞きながら、今後の対策として参考にさせてもらう。

ここを  
聞きたい

## 原則入院堅持を

**問** 症状に応じて必要な医療を全ての患者に提供できるよう政府発表の「原則自宅療養」を撤回し、「原則入院」を堅持し、臨時の医療施設や宿泊療養施設の新設や増設を国・道に求めるべきでは。

**答** 北海道では、感染の再拡大に備え、札幌市内に大規模な臨時の医療施設を開設するとの情報もあるので、それらの動きを注視し、必要な対策について北海道へ要望していく。

ここを  
聞きたい

## 町独自でもPCR検査を

**問** 濃厚接触者だけでなく、大規模なPCR検査を行政検査として実施することを国に求めるべきではないか。国がやらない場合、町独自で実施すべきではないか。

**答** 道内は検査体制が強化され、1日の検査数も飛躍的に伸びている。さらに強化が必要な場合は国や道に訴えていく。また、行政検査は法律に基づき道が実施するもの。町独自ではできない。

ここを  
聞きたい

## 風力発電への対応は

**問** 宮司前町長は6月議会で「土地取引上で懸念される点や、町民の生活への影響など町民の声を重く受け止め対応する」と答弁された。後藤新町長も、この立場を引き継いで対応されるのか。

**答** 前町長と同様の考え。町と町議会に地域住民団体から設置反対の陳情書が提出されており、今後も町民の声を重く受け止め、国や道と対応を協議しながら、緊張感を持って対応していく。



# 一般質問

山崎 公司 議員

質問の  
ねらい

## 太美地区に新庁舎の建設を

札幌に隣接する太美地区は、新規住宅件数、交流人口も大幅に増加する。将来、当別地区の人口を上回ると予想されている。将来を見据え、図書館を含む役場庁舎を太美地区に建設する事が持続可能な当別町に繋

がる。候補地として検討してはどうか質した。さらに中学校近くのスウェーデン大通りと高岡中央線入口で吹雪による交通障害が多発した。防雪柵の必要性と今年度の具体的な除排雪の改善策について質した。

ここを  
聞きたい

## 太美地区に新庁舎の建設を

問

人口減少克服のため、図書館を含む役場庁舎を太美地区に建設することが持続可能な当別町を形成すると確信。今後の当別町のさらなる発展のため、候補地の一つとして検討してはどうか。

答

庁舎は防災対策上、早期建設が必要で、町有地活用が基本。場所選定は町全体のバランスを考えて進めるが、太美地区は、生活の利便性向上を優先したまちづくりを進めることが重要と考える。

ここを  
聞きたい

## 若年の住宅購入者に支援を

問

10年間の出生数から考えると自然増は実現不可能。定住人口増のため、子育て世代の転入増を目指す上で、家を購入する子育て世代や若年世代へ、50万円以上の支援を検討しては、

答

子育て世代が転入しやすいような施策を導入すると所信表明でも申し上げた。その一つが住宅購入支援と考えているので、定住人口増加に向けた支援制度創設を早急に検討したい。



ふれあいバス

ここを  
聞きたい

## 循環型交通ネットワークを

問

交通弱者救済がまちづくりの推進となることや、JRやふれあいバス等の連携が、合理的な交通ネットワーク構築に繋がることなどを勘案し、太美地域の交通ネットワークを見直す考えは、

答

公共交通ネットワークの充実には、移住や定住につながり、経済効果も生まれるため、町の活性化に必要。見直しと利便性向上策について、公共交通活性化協議会での協議を促していく。

ここを  
聞きたい

## 防雪柵の設置が必要

問

スウェーデン大通りの西当別中学校から獅子内間で、吹雪による交通障害が多発している。町内会、除排雪業者、学校と十分な情報交換を行い、早急な防雪柵の設置が必要では、

答

地吹雪で交通障害が生じる地区であると認識している。今年は歩道を排雪して、視界不良が軽減されるか実証したい。防雪柵は、排雪による道路状況、西側の住宅建設の動向を見て検討する。

ここを  
聞きたい

## 今年度の除排雪対策

問

従来のものでなく斬新な除排雪システムが必要だが、この冬の除排雪対策は町民の理解を得られるような改善策か。

答

町民と新しい協働体制を図り、早めの判断と対応で、安心、安全な冬の道路管理を進めていく。

### 【その他の主な質問項目】

「太美地区コンパクトシティ」取り組み状況、今後の展開としてのゾーニング設定の考え など

トピックス

新議長に <sup>たかやしげる</sup> 高谷 茂 議員



6月30日に後藤正洋前議長が議員を辞職して以降、議長は空席となっていました。8月12日の臨時議会の中で議長選挙が行われ、高谷茂議員が議長に選出されました。

トピックス

佐藤 立 元議員が当選



7月18日に行われた当別町議会議員補欠選挙において、佐藤立元議員が当選されました。その後、総務文教常任委員会、議会広報特別委員会の委員に選任されました。

討論

国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

不採択すべき 鈴木議員



コロナ対策を最優先すべき  
道路の新設より老朽化などへの対応が必要。何よりもコロナ対策を最優先すべき。

採択すべき 稲村議員



持続的な地域のために必要  
ポストコロナを見据えた新たな未来に向けて取り組みを加速することが必要。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	島田	岡野
欠	採	採	採	採	不	採	採	採	採	欠	採	採	欠

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。「欠」は欠席。

令和3年第2回臨時会

日程：8月12日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

傍聴人数 0人 議会中継視聴回数 94回 (11/22 現在)

【専決処分】 ※専決処分の承認を求めるもの		
令和3年度一般会計補正予算 (第5号) 当別町議会議員補欠選挙等に係る費用を増額したもの	○	—
和解及び損害賠償額の決定について 車両損傷事故について、損害賠償額を定め和解した専決処分の承認を求めるもの	○	p.10
【補正予算】		
令和3年度一般会計補正予算 (第6号) 4,023万円を増額し、総額を154億4,495万円とするもの	○	p.10

令和3年第3回定例会

日程：9月14日～9月28日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

傍聴は制限 議会中継視聴回数 1,130回 (11/22 現在)

【議員提案】		
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	—
国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	○	p.19
【専決処分】 ※専決処分の承認を求めるもの		
令和3年度一般会計補正予算 (第7号) 感染防止対策協力支援に伴う費用を増額したもの	○	—
【報告】		
株式会社 tobe の令和2年度決算及び令和3年度事業計画に関する書類の提出について 地方自治法第243条の3第2項の規定により提出するもの	○	—
【人事案件】		
教育委員会委員 (佐々木 成尉 氏) の任命について 同氏が任期満了になるため再任するもの	○	—
【補正予算】		
令和3年度一般会計補正予算 (第8号) 8,313万円を増額し、総額を155億6,696万円とするもの	○	p.11 ～ p.12
令和3年度介護保険特別会計補正予算 (第1号) 2,778万円を増額し、総額を16億7,593万円とするもの	○	—
【条例】		
当別町個人情報保護条例の一部改正 デジタル庁設置法の施行等に伴う条例の一部改正	○	—
当別町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う一部改正	○	—
【契約】		
一体型義務教育学校木質バイオマスボイラ設置工事請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	○	—
19線橋樑長寿命化修繕工事請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	○	—
【決算認定】 ※下記2議案は令和2年度各会計決算審査特別委員会へ付託		
令和2年度各会計歳入歳出決算認定について 一般会計、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、介護サービス事業特別会計、後期高齢者医療特別会計の決算認定を求めるもの	付託	p.6 ～ p.9
令和2年度当別町水道事業会計決算認定について 水道事業会計の決算認定を求めるもの	託	—
【委員会報告】		
令和2年度各会計決算審査特別委員会報告 付託された案件を「原案のとおり認定すべきものと決定した。」と報告	◎	p.5

ここからは

議案の審議結果 臨時会・定例会では、討論や採決が行われました。

【請願・陳情】		
《令和3年第2回定例会（6月）総務文教常任委員会へ付託》 北海道への「核のごみ」持ち込みに反対する意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫	採 択	—
《令和3年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 当別町西当別風力発電事業の白紙撤回を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫	継 続	p.21
《令和3年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 高齢者医療費2倍化導入の撤回を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕公益社団法人北海道勤労者医療協会 当別社員支部 支部長 今野 一三六 他4団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫	不 採 択	p.20 討論①
《令和3年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 「地域を活性化し、若者が地元でくらせる！全国一律最低賃金制度の創設を求める意見書」の採択を求める陳情書 〔提出者〕札幌地区労働組合総連合 議長 赤坂 正信	不 採 択	p.20 討論②
《令和3年第3回定例会（9月）産業厚生常任委員会へ付託》 新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫	継 続	—
《令和3年第3回定例会（9月）産業厚生常任委員会へ付託》 西当別風力発電事業（風車建設）の中止を求める意見書採択についての陳情書 〔提出者〕風力発電を考える当別町民の会 呼びかけ人代表 手代木 隆二	継 続	p.21
《令和3年第3回定例会（9月）産業厚生常任委員会へ付託》 石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八ノ沢及び当別町西当別風力発電事業に反対する陳情書 〔提出者〕厚田区有志 福岡 幸一 他2名 他3団体	継 続	p.21

① 討論

高齢者医療費2倍化導入の撤回を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



国庫負担と富裕層負担を増やして負担軽減するには、国庫負担を元に戻し、大企業や富裕層から応分の負担を求めるべき。

不採択すべき 山田議員



現役世代の負担軽減を高齢者医療費が現役世代の健康保険組合を圧迫。改正により負担軽減が見込まれている。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	島田	岡野
欠	不	不	不	不	採	不	不	不	不	不	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。「欠」は欠席。

トピックス

議会ICT化推進へ向けて



デモンストレーションの様子

当別町議会では、ICT化推進に向けてペーパーレスシステムの導入を検討しています。

10月8日（金）と22日（金）に、タブレットを使ってデモンストレーションを開催しました。システムを提供する企業からの説明を受け、実際にタブレットで資料を閲覧したり、メモを取るなどの体験を行いました。

今後の導入に向けて、費用対効果や業務の効率化、どのような活用ができるのか慎重に検討していきます。

② 討論

「地域を活性化し、若者が地元でくらせる！全国一律最低賃金制度の創設を求める意見書」の採択を求める陳情

採択すべき 鈴木議員



今こそ最低賃金引き上げを  
経済が落ち込んでいるからこそ大幅に最低賃金を引き上げ、地域格差を是正することが必要。

不採択すべき 島田議員



まずは経済回復に全力を引き上げは現実的でない。地域経済や雇用を守るため、国は財政支援に早期に取り組むべき。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	島田	岡野
欠	不	不	不	不	採	不	不	採	不	不	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。「欠」は欠席。

## トピックス

## (仮称) 石狩郡当別町西当別風力発電事業の中止や白紙撤回を求める 請願・陳情が提出されています

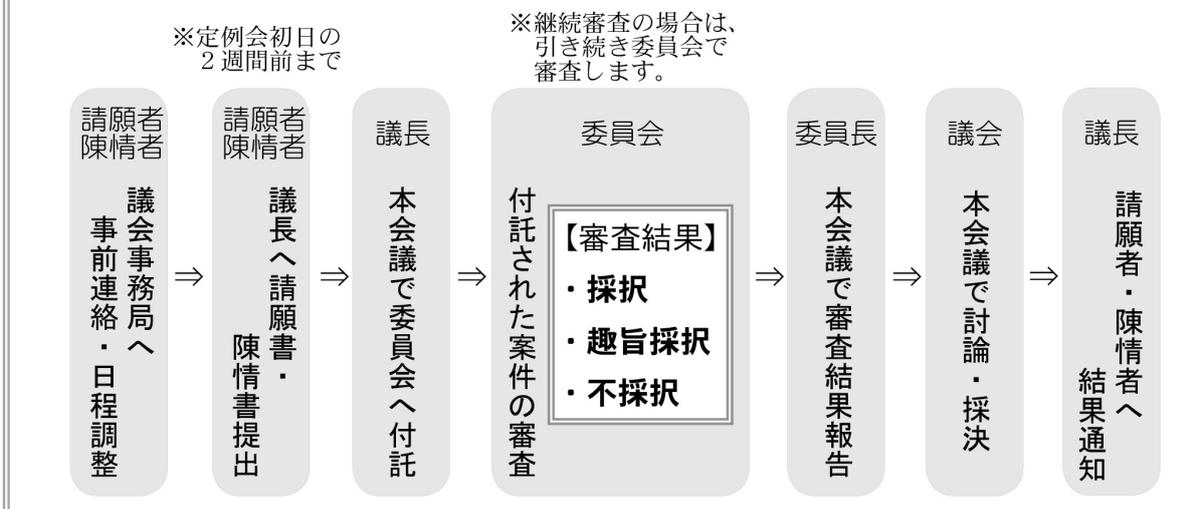
民間事業者による風力発電事業が計画されており、当別町では上当別から弁華別にかけて風車の建設が予定されています。しかし、風車建設は自然環境や生活環境へリスクを与えるなどの理由で、事業の中止や撤回を求める旨の請願、陳情が3件提出されました。

これらの請願・陳情は、6月と9月の定例会で産業厚生常任委員会へ付託され、委員会では、事業者説明会を聞いてから審議を進めることとし、継続審議となりました。

なお、10月、11月にも同様の陳情2件が提出されています。

### 当別町議会への請願・陳情の基本的な流れ

請願：当別町議会議員の紹介があるご意見やご要望など  
陳情：当別町議会議員の紹介のないご意見やご要望など  
(※郵送されたものについては、各議員に写しを配布)



### 産業厚生 天候に恵まれ農作物は順調に生育 常任委員会 8/31 町内所管事務調査

北海道バイオマスエネルギー発電所、水稲や大豆の生育状況、西当別小学校チップボイラなどを視察し、事業者や石狩農業改良普及センター、担当課から説明を受けました。



北海道バイオマスエネルギー発電所（樺戸町）



水稲のほ場（蕨岱）



西当別小学校チップボイラ（太美町）

## 議会のうごき（令和3年8月～令和3年11月）

8月 11日	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会	9月 28日	令和2年度各会計決算審査特別委員会
12日	議会運営委員会 議員協議会		第3回定例会 議員協議会
	第2回臨時会 議員協議会		議会広報特別委員会
31日	会派代表者会議	10月 8日	議員協議会
	産業厚生常任委員会町内所管事務調査	19日	議会広報特別委員会
9月 7日	議会運営委員会	22日	議員協議会
9日	総務文教常任委員会	11月 5日	議会広報特別委員会
14日	議会運営委員会 議員協議会 第3回定例会	9日	議会広報特別委員会
15日	総務文教常任委員会	16日	議会広報特別委員会
16日	産業厚生常任委員会	17日	産業厚生常任委員会
17日	第3回定例会 議員協議会	22日	会派代表者会議
21日	令和2年度各会計決算審査特別委員会	24日	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会
22日	令和2年度各会計決算審査特別委員会	25日	議会運営委員会 議員協議会
24日	第3回定例会		第3回臨時会
27日	第3回定例会	30日	議会運営委員会

### 令和3年12月定例会のご案内

予定 12月7日(火)～12月14日(火)  
 内容 補正予算、一般質問など  
 傍聴 本会議や委員会も傍聴できます。

#### 議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

### 議場での傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場の傍聴を制限しています。ご協力をお願いします。また、インターネット中継も行っているため、インターネット環境のある方は、可能な限りそちらをご利用ください。



傍聴席を制限

### ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

#### 議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9  
 TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474  
 E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

### 議会広報特別委員会

委員長 五十嵐 信 子  
 副委員長 鈴木 岩 夫  
 委員 佐藤 立  
 委員 佐々木 常 子  
 委員 櫻井 紀 栄

### 編集後記

表紙のコンテンツを変えました。表紙を見て質問の中身が分かるようにしました。いかがでしょうか。紙面改善に向けて引き続き努力してまいります。9月定例会は、町長選挙を受けての議会となりました。各会派の代表質問と一般質問も、まちづくりの焦点について質すものとなっており、読みごたえがあると思います。また、令和2年度の町の予算の使われ方について検証する決算審査特別委員会もあり、ボリュームある誌面となっています。皆様の納めた税金が適正に支出されていたでしょうか。参考にさせていただきたいと思います。

議会広報特別委員会 副委員長 鈴木 岩夫